

雇用統計の結果レポート

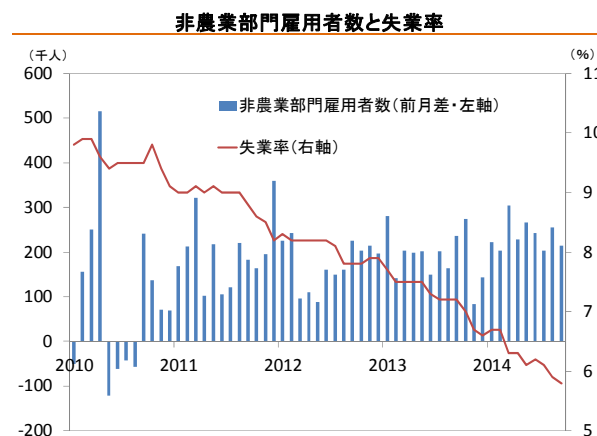
非農業部門雇用者数 10月 +21.4万人 市場予想 +23.5万人 前月 +25.6万人(上方修正)

失業率 10月 5.8% 市場予想 5.9% 前月 5.8%

労働市場情勢指数 10月 4.0 前月 4.0(上方修正)

■労働市場の堅調な改善トレンドに変化なし

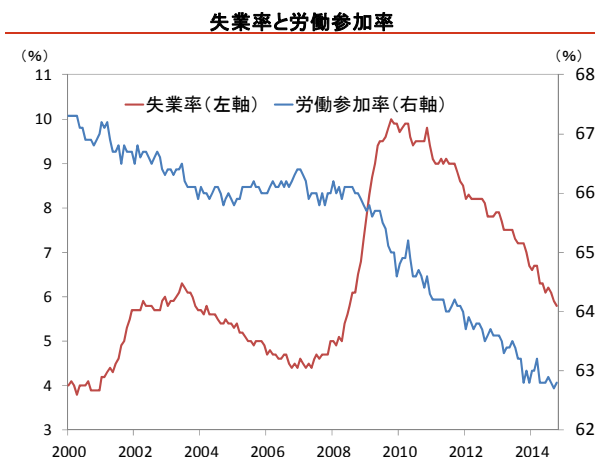
7日に発表された米国雇用統計で、非農業部門雇用者数は前月差21.4万人増と、23.5万人の市場予想を下回った。ただ、9月分が24.8万人増→25.6万人増、8月分が18万人増→20.3万人にそれぞれ上方修正され、非農業部門雇用者数の前月差増加数は今年の2月以降9ヶ月連続で労働市場の堅調な回復の目安とされる20万人を上回る格好となった(グラフ参照)。マネックス証券では25万人増を予測していたが、予測を下回る結果だった。



(出所)マネックス証券作成

また、合わせて発表された失業率は前月から0.1ポイント低下した5.8%と2008年7月以来約6年ぶりの低水準となった。失業率の低下が望ましいのはもちろんのこと、10月の失業率の低下は質的な改善も伴ったものだった。生産年齢人口(15歳から64歳までの人口)に占める労働人口(生産年齢人口の中で働く意思を持つ就業者と失業者の合計)の割合を示す「労働参加率」が上昇したのである。

グラフに示したように、2000年以降低下傾向にあった米国の労働参加率だが、金融危機の発生以降低下のペースが加速しており、人口動態の変化などの構造的な問題とともに、職探しを諦めてしまう人々の増



(出所)マネックス証券作成

加が指摘されていた。

もちろん失業率の低下は望ましい一方で、失業率の計算は失業者÷(失業者+就業者)で行うため、職探しを諦めてしまい失業者のカウントから除かれる人が増加すると、以下のように実質的な労働市場の改善が起きていなくとも見た目の失業率は改善する。

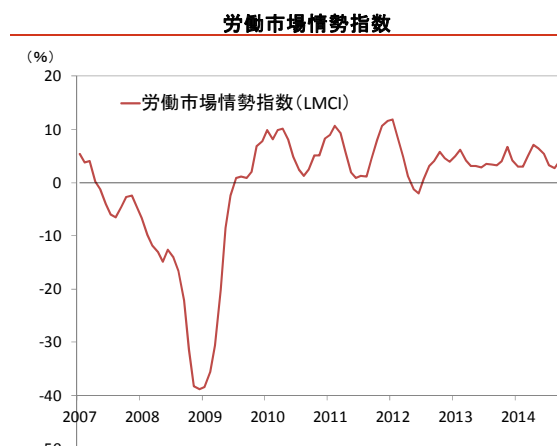
例

失業者5人・就業者95人の場合 $5 \div (5+95) = \text{失業率}5\%$

うち失業者2人が職探しを諦めて失業者にカウントされなくなると $3 \div (3+95) = \text{失業率}3.1\%$

10月は労働参加率が62.7%から62.8%に上昇しつつ失業率が5.8%に低下しており、労働市場の質的改善が見られることは非常に好ましいと考えられる。非農業部門雇用者数こそ市場予想を下回ったものの、数値自体は堅調であることから考えても、**労働市場の改善は継続していると判断できる**だろう。

なお、先月から発表が開始された計19の労働市場関連指標をまとめたインデックスである「労働市場情勢指数」の10月分は4.0となった。9月分は先月の発表時には2.0だったが、10月分の発表時に4.0に上方修正されており、結果的に横ばいとなった。



(出所)マネックス証券作成

利益相反に関する開示事項

マネックス証券株式会社は、契約に基づき、オリジナルレポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先会社より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。レポート対象企業の選定はマネックス証券が独自の判断に基づき行っているものであり、契約先会社を含む第三者からの指定は一切受けておりません。レポート執筆者、並びにマネックス証券と本レポートの対象会社との間には、利益相反の関係はありません。

- ・当社は、本レポートの内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。
- ・記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。
- ・提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。
- ・当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会